

もくじ

- ・ てんぐのかくれみの

てんぐのかくれみの

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： ナナホシ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

むかし むかし、あるむらに、
いたずらが だいすきな『ごんた』という
おとこのこが、ははおやと ふたりで
すんでいました。

そのひ ごんたは、いえから
たけづつを いっぽん もちだして、
きんじょの こだかい おかに のぼりました。

ごんたは おかのうえに つくと、
たけづつのそこを めにあてて、
あしもとに ひろがる むらを みおろしました。

「うわあ、みえる みえる！
むらのようすが すごくよく みえるぞ！
あ、たろうのやつ、また おふくろさん
におこられてやんの。あははは」

もちろん この たけづつは、ただの たけづつ。
そこに ふたもしてあるので、
けしきなど みえるわけがありません。

いったい ごんたは、
なにをかंगाえているのでしょうか。



「あ！ やまのむこうに みえるのは、
きょうのみやかかな？ きれいだな～」

ごんたが、たけづつを めにあてたまま
あたりを みわたしていると、
とつぜん うしろから
だれかに こえをかけられました。

「おい ぼうず、たのしそうだな。
おれにも みせてくれよ」

ごんたは ふりかえりましたが、
そこには だれもいません。

「あれ？ おかしいな。
たしかに こえが きこえたんだけど・・・」
「どこをみている。ここだ、ここ」

